する。一つは市民参加型 ンゴル眼科医協会だっ ドの場の3条件を紹介 |際塾の海外教育フィー 道支援外交プログラ ちなみに、おかやま では、多くの眼科医が四 主義に転換したモンゴル ある。社会主義から資本 検眼士育成プログラムで 入の多い眼の手術に没頭 モンゴル健康科学大学にて

たちに紹介されていな

経済覇権は欧米から日

本、インドそして中国

国発の世界大恐慌により が候補地である。来る米

のメディアで日本の人

に親日的な行為が日本

ル、インドなど複数の国 ュ、スリランカ、ネパ

ンゴルの人たちの本当 などをお聞きした。モ

ドネシア、バングラデシ

遅れて、子どもたちに多 くの不利益をもたらし 、る現状がある。モンブ たために検眼士育成が

いことを残念がってお

る。コミュニケーション 軸とするアジアに移行す

能力形成が重要である。

最高のコミュニケーショ

時に、モンゴル政府の なお、阪神大震災の

空港に5000枚の元 布を20分間の滞在で引

ない国の一つとして日本

世界で最も嫌われてい

の果たす役割は何なの

ンは信頼形成である。

緊急対応の大臣が伊丹

塾生たちに異文化の人た

つとの多様性の共存を熟

くの人たちに日本を好き

と連携。

一つは72年前の

ノモンハン事件(モンブ

ている。 更に、 AMDA

成学校設立の準備を進め

、眼科医協会と検眼士養

モンゴル支部長のオユン

民参加型人道支援外交

環である。目的は多

てモンゴル眼科医協会

八道支援プログラムと

AMDAの提唱する

確保の整備である。

になってもらうと共に、

8名がモンゴルで研修し

備

三つが治安と医療の 一つは受入体制の整

かやま国際塾第1期生の ら30日までの8日間、

2011年8月23日か

童

もらうことである。 考し、将来的に実現して

相互扶助プログラムの集 である。これは現場での

山であるガンダン寺と日 ルのチベット仏教の総木

雄特命全権大使から東ロ

ろん、大の親日家である 学んだ医師である。もち

日本大使館で、城所貞

に信頼形成」が最終目標 一扶助による世界平和

たモンゴルと日本の双方

戦死者のためにモンゴ

モンハン事件に関係し

院開設をめざしている。 に日本―モンゴル友好病

大国際保健修士課程に

術を昨年に実施。同時に、

命名)関係者の白内障手 ル側ではハルハ河戦争と

チ

メグ医師は本年の10日

積が必要と考えている。

は健康科学大学、AMD

モンゴル側の受け入れ

Aモンゴル支部、

A M S

Aモンゴル支部そしてモ

弱視、遠視、乱視などの

の方々が募金のみなら

もしての慰霊がされた話 大使館前でロウソクをと

番迅速だった対応と市民

モンゴル政府の世界で 本大震災被災者に対する

ず、被災者のために日本

二つ目は子どもたちの

だった。城所大使の外 のは城所大使の助言が ったとのお話は印象的 き渡して帰途に就いた

に関する豊富な秘話を た長年に渡る人道支援 務省在職時に経験され か。おかやま国際塾はモ

した。「相互扶助による ンゴルでその一歩を開始

ぜひ出版していただき たいとお願いした。 世界平和への信頼形成 を実施する人材育成にど のように寄与できるの

おかやま国際塾の海

AMDA国際ネット

きたい。3条件を満たし ゴル以外にも拡充してい 外教育研修の場をモン びである。 ていただければ最大の喜 ワークを最大限に活用

ている国としては、イン (AMDAグループ代表